

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸癌肝転移に関する再肝切除の外科的意義についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

1998年1月1日～2015年10月31日に、当院で大腸癌肝転移の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腸癌肝転移は、血行性遠隔転移の一形態と考えられ、それただけで、大腸癌としてのstageはIV以上と扱われます。通常、stage IVは根治的治療の適応外とみなされますが、大腸癌肝転移に対しては肝切除が第一選択の治療であると考えられ、大腸癌ガイドラインにおいても、切除可能な症例においては積極的に手術療法を選択することとされています。一方、切除後の肝転移再発をきたす症例も増えてきており、その治療法として、再肝切除術は、初回手術と同等とされる報告もあります。今後、大腸癌の治療成績をさらに改善させるためには、再肝切除症例の対策が大きな課題です。

そこで、今回、我々は、診療記録を用いた後方視的研究により、再肝切除症例を検討し、その予後規定因子を検討することを目的としました。また、再肝切除後、さらに再発をきたした症例に対し、再度、肝切除をすることの意義について、併せて検討することを目的としました。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2019年12月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術前血液検査所見、術前腫瘍情報、手術所見、術後経過、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部 外科学講座 消化器・一般外科部門） 研究責任者：草野 智一

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541